



DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL 

<http://www.lions330-a.org/>

The Lions News

2010 Spring



表紙画協力:口と足で描く芸術家協会

Contents

岡野ガバナークラブ訪問レポート・若手メンバーに聞くライオンズクラブって？

青少年育成委員会レポート・外から見た330-A地区・奉仕の感動・アクティビティ紹介、他

特集 330-A地区 年次大会



年次大会とは？

年次大会とは地区の総会

一言で言えば「年次大会は地区の総会です」と表現できます。ではいったい何のために年次大会が開催されるのだろうか・・・？そんな素朴な疑問を持っているメンバーもいらっしゃるかも知れませんが、年次大会は各クラブから正式に派遣された代議員が集まり、準地区(330-A地区)の大切な議案を審議します。代議員は予め決められた各分科会にて審議を重ねた結果を決議委員会に報告して決議します。決議は地区内の各クラブの運営をサポートし、各クラブメンバーが国際協会の一員であるとの認識

を高め、複合地区内並びに日本のクラブの連携を深め、複合地区や国際協会への報告、提案事項など、地区が担う役割を実施するために必要で適切な決定をするために行われます。(地区大会は国際協会会則および付則に反しないかぎり、あらゆる事項につき決議できる※複合会則第20条9・地区大会は本協会の会則および付則に沿っているかぎり、あらゆる事項について適切な決断を下し、単一地区および複合地区の大会で国際協会への提案事項を決議することができる。※国際付則第9条第2項)

クラブを代表する代議員

決議に参加できる各クラブ代議員は、地区大会が行われる前月国際協会本部記録に基づき、少なくとも1年と1日以上クラブに在籍している会員メンバー10人ごとに1人、及び端数5人以上に一人の割合で各クラブから正式に派遣されます。代議員はクラブ会長が署名した資格証明書を、公式プログラムに記載された登録時間内に資格審査委員会に提出し、資格を確認しなければなりません。また、地区内の国際役員、元国際理事、前・元地区ガバナーも代議員として決議に参加し、諸決議は出席し、投票した代議員の過半数をもって決します。(※複合会則20条6参照)



代議員総会

地区ガバナー・地区役員の選出

年次大会の中でも、重要な決議のひとつに「次期地区ガバナーの選出」があります。国際付則第9条第4項に定める地区ガバナー立候補者の資格(c)には、「現在、所属地区の第1副地区ガバナーを務めている者であること」とされていますので、通常は現在の第1副地区ガバナーが、ガバナーエレクトとなります。また、地区ガバナーの選出はその年の国際大会開催日の30日前までに行わなければなりません。(※国際付則第5条第6項)

次に、次期第1副地区ガバナーの選出では、国際付則第9条第6項(b)によると、候補者資格として、「現在、所属地区の第2

副地区ガバナーを務めている者でなければならない」とされているため、通常は現第2副地区ガバナーが選出されます。尚、複数の立候補者がある場合は選挙が行われます。その場合、現ガバナーが委員会メンバーを指名して選挙管理委員会が組織され、立会演説会の設営、選挙の方法などを決定し、開票結果報告などを行います。(昨年は選挙にて現第1副地区ガバナーが選ばれました。また、昨年より年次大会において第2副地区ガバナーを選出することになり、昨年は候補者が一人であったので無投票で現第2副地区ガバナーが選出されました。)

地区内クラブ表彰(アワード贈呈)

このほか年次大会では以下のような手続きや決定、ならびに表彰が行われます。国際理事候補者推薦手続きに基づく国際理事候補者の推薦、地区内のクラブアクティビティに対する表彰(ガバナーズアワード)その他国際協会会則および付則ならびに複合地区会則に反しない限り、あらゆる事項を決議できます。ただし、議案はあらかじめ文書を持ってキャビネットに提出し、キャビネットで採択された議案は大会開催2週間前までに各クラブに通知されます。(地区年次大会議事規則標準版より)



エンターティメント・晩餐会

年次大会は堅苦しい会議ばかりではありません。例えば、大勢のライオンズメンバーが参加する会場にはライオンズ用品の販売ブース等が並び、地区の一大イベントのムードを味わうことができますし、代議員以外の会員も参加できる大会式典では、選出された役員の紹介と共に、著名人を招いての講演や趣向を凝らした企画が毎年開催されます。また、同伴者からも参加できる晩餐会ではエンターティメントや楽しい企画も催され、華やかなムードを楽しみながら、クラブを超えたメンバーとの新しい出会いや交流の場としても有意義な時間を過ごすことができます。



第56回 年次大会

2010年 4月 24日(土) 会場:東京プリンスホテル

**原点を見極め 初心のままだに
～誠実に輝き続けるライオンズの為に～**

第56回年次大会は参加者の思い出に残る大会にしたいと考えています。

特に今期の岡野ガバナーは、この年次大会までに地区内の200クラブすべてを訪問し、ライオンズクラブの将来のため、参加者の皆さんと共に原点に戻って初心に立ち帰り、新たな気持ちで奉仕活動に精進したいと考えています。年次大会は地区内の各メンバー同士が久しく再会して意見交換する大切な機会でもあります。

なお会場では、今期の地区ニュースの表紙を飾った「口と足で描く芸術家協会」よりお借りした、障害を持った方たちが不屈の精神で描いたすばらしい絵をごらん頂く予定です。

ぜひとも地区内の多くのメンバーにご参加いただきたくご案内申し上げます。

第56回年次大会委員長 L 飯田 金廣

大会日程

代議員登録受付 9:00～

代議員資格審査変更受付締切 9:45

代議員会 10:00～13:10

代議員総会 10:00～

代議員分科会 11:00～

代議員総会(再開) 12:40～

大会式典 14:00～16:40

☆ 記念コンサート&トーク 出演:視覚障害アーティスト「AYaKo」
ヘレンケラー女史に端を発した視覚障害支援、ライオンズから生まれた白い杖運動、原点回帰の名の下に演奏とトークで「共に知り、共に楽しむ」コミュニケーションコンサート

☆ 特別アワード表彰(国際会長賞・国際リーダーシップ賞他)

☆ ガバナーエレクト、次期第1副地区、第2副地区ガバナー紹介

☆ 代議員決議報告(会場周辺にて各クラブ・各委員会活動報告等の展示)

感謝の集い 17:00～19:30

☆ ガバナーズアワード表彰(地区運営優秀賞・地区アクティビティ優秀賞他)

☆ アトラクション(日々練習に明け暮れる若い音楽家への応援)

☆ お楽しみ企画(ラッキー賞品・協賛賞品の数々)

岡野ガバナー クラブ訪問の軌跡

全てのメンバーにメッセージを直接伝えたいとの熱い想いから全クラブ訪問を目標に掲げられ、上期128クラブ訪問を達成された岡野ガバナーの足跡を時系列順にご紹介致します。

12月	12/30 臨時例会 129 小笠原	1月	1/6 新年例会 130 東京新宿御苑	1/7 第1例会 131 東京フロンティア	1/9 福祉バザー 132 東京玉川	1/9 新年例会 133 東京築地市場	1/10 新年祝賀パレード 134 東京新宿
	1/11 成人式献血奉仕 135 東京麹町	1/12 第1例会 136 東京センチュリー	1/13 新年例会 137 東京神宮	1/13 新年例会 138 東京江戸川東	1/14 新年例会 139 東京櫻	1/14 新年例会 140 東京新橋	
	1/15 新年例会 141 東京堀留	1/16 1月例会 142 東京スバル	1/17 第1例会 143 昭島	1/19 新年例会 144 東京王仁	1/20 第2例会 145 東京豊島	1/20 新年例会 146 東京大井	
	1/21 第2例会 147 東京蔵前	1/22 第2例会 148 東京中野	1/27 築地・晴海合同例会 149 東京築地	1/28 第1例会 150 東京荏原	1/28 第2例会 151 東京杉並	1/29 日韓合同例会 152 東京大江戸	
2月	1/30 壁ペインティング 153 町田クレイン	2/2 献血例会板橋西と合同 154 東京板橋	2/2 第1例会 155 東京調布	2/3 第1例会 156 東京目黒	2/4 第1例会 157 東京日比谷	2/4 第1例会 158 東京八王子中央	
	2/5 献血奉仕 159 東京御茶の水	2/7 25th中国帰国者日本語発表会 160 東京セントラル	2/7 ハイチ地震復興募金活動 161 東京小金井	2/9 45th アクティビティ・懇親会 162 東京大塚	2/12 第1例会 163 立川	2/12 第1例会 164 東京八重洲	

今期あと36クラブの訪問を予定しております。
どうぞ宜しくお願い申し上げます。

※ クラブアクティビティ及びチャーターナイト・周年行事は
330-A地区のホームページでも閲覧できます。

若手メンバーに聞く ライオンズクラブって？

地区活性化の新たなヒントや改善点が見つかるのでは？
そのような思いから、広報委員会の呼びかけで、積極的に活動している若手メンバーに集まって頂き、自由にライオンズクラブについて語って頂く場を設営した。

● ライオンズに入会して得したこと、損したことは？

L 進藤 最初に「例会には必ず出席すべし」と言われ、メイキャップで様々なクラブの例会に参加させて頂き、知り合いがたくさん増えたこと。それから「ライオンネット」というインターネット上の交流を通じて、日本全国のライオンズクラブメンバーと友達になれた事。さらに、ライオンズメンバーと障害者の方々が一緒に世田谷区内の障害作業所を見学するというアクティビティに、ライオン誌の鈴木所長が参加された事がきっかけとなって、ライオン誌の封入発送作業を35,000部ご依頼頂きました。世田谷区内1,415か所の作業所の異なる障害を持つ人たちが、1か所で共同作業を行うという素晴らしい事業の実現に繋がり、画期的なネットワークシステムが実現できました。

L 河田 ライオンズクラブのバッチを付けているだけで、海外の空港で荷物を開けられなかった。

L 坪谷 お金が出ていきますよね。友達の輪が広がれば、クラブ周年行事やゴルフなどのお誘いが増えて、出費が多くなる。

L 松永 仕事だけでは知り合えない人達と出会えるので、出費は増えるかもしれませんが、得することも多いと思います。

● ライオンズに入会してイヤだな～と思うことは？

L 鹿野 何かもらったときウォーというのにはびっくりしました。名前を呼ぶときに〇〇ライオンというのにも慣れなかったです。

L 赤尾 ロバート議事規則を奨励しているにもかかわらず、守られていない。例えばキャビネット会議でも、みんなが集まっているのに審議に割く時間が短くて、報告事項ばかりが長いのはどう考えてもおかしいと思う。それからアワード審査にしても透明性がなく、点数制にするなど公平な審査がなされておらず、「うちのクラブ頼むよ」的なことが実際に行われている。

L 坪谷 また逢う日までを唄う時に、手をギュッと握られるのがちょっと嫌でした。以前ライオンズクラブがテレビで紹介されたとき、「撮影があるからとにかく集まれ」と言われて掃除に参加したのですが、入会直後でしたので「ライオンズはやらせなんだー」と思いました。また、若手を育てると言われるのですが、若手にアドバイスをしていると「ライオンズはそういうものじゃない」などと話を遮られることがあります。

L 河田 若手の中にも優秀なメンバーは多いので、若手を信頼して任せてみてもらいたい。それからガバナー選挙になると怪文書が出回ったりして、非常に嫌な気分になります。

L 進藤 世田谷LCではライオン歴の浅い会長が誕生しても、経験の長いメンバーは会長に協力してくれます。その年の会長が一番なんだから全員でバックアップするというクラブの方向性ははっきりしていればうまくいくのではないのでしょうか。

L 坪谷 私も会長ですが、理事会などで決定した事項でも、その後飲みに行くとき「あれは違うんじゃないか」「理事会で言うとき角が立つから会長から頼む」などと言われることも多いです。

L 赤尾 入会直後は知らない人ばかりで、例会が面白くなかった。新人向けの全体事業が1～2回あれば良かったと思います。

L 進藤 義夫
東京世田谷LC所属
2008年7月入会
入会のきっかけ
青年会議所(JC)のOB会幹事を努めていた時に、JCの先輩でライオンズメンバーと知り合い、ある日「これ(入会申込用紙)に名前を書きなさい」と言われ入会となりました。

L 河田 弘昭
東京吉祥寺LC所属
2004年8月入会
入会のきっかけ
40歳まで青年会議所に在籍しておりまして、武蔵野LCエクステンションメンバーに誘われて吉祥寺LCが立ち上がるのをきっかけに入会しました。

●入会前と入会後でライオンズの印象は変わった？

L 赤尾 入会前は、標識とかベンチなどを寄付する団体だと思ってましたが、実際に入会後の感想としては、体を動かすことが好きな人が多いと思いました。

L 鹿野 私も入会前は赤尾Lと同じようなイメージでしたが、入ってみるとすごく楽しい方が多く在籍されていて、とても楽しく過ごさせて頂いております。

L 松永 私も小さいころから、ライオンズクラブは駅前の時計などのイメージだったのですが、入ってみたら凄く活動的で、「お金だけ寄付して…」というイメージはなくなりました。

L 進藤 私も皆さんと同じ意見です。逆に言うと、周りからそのように見られているというイメージを払拭していきたいです。

L 河田 お金のある方たちの社交の場というイメージでした。

●ライオンズクラブの強みと弱みは？

L 鹿野 薬物乱用防止教室をゾーン単位で実施しているのですが、学校などにライオンズクラブの名前が浸透しているので、打ち合わせなどとてもスムーズにできてやりやすいです。

L 進藤 まず、社会貢献に対する意識が強い方が多く、先ほどロバートルールの話が出ましたが、あまり守られていないことが強みに働いて、色々なことが早く決められる。海外災害支援なども、会議を重ねずに素早く対応できることが強みだと思います。

L 河田 ライオンズのバッジをつけていると、あまり変な場所には行けないですね。(笑)

L 赤尾 強みは人数が多いところ。弱みは主義主張が弱い。さまざまなアクティビティがあるので、どういうところを目指している団体か判らないという部分だと思います。



座談会では、ライオンズクラブのあり方や、メンバーに対する批判が爆発するのでは…という心配(期待)もありましたが、参加頂いたメンバーは、ライオンズを愛し、前向きに行動する方々ばかり。これからのライオンズクラブに明るい光が見える座談会になりました。参加メンバーの皆様、誠にありがとうございました。
(広報委員会)

L 進藤 クラブに入会すると、そのクラブの伝統的なアクティビティは判っても、他クラブの活動がわからない。見に行こうと思えば見ることが出来るのに、システム化されていないからそれが出来ないのが残念。また、メンバーが減っていくという話ですが、うちのゾーンではあるクラブは、70名に達するというのにさらに7名の新入会員が入り、あるクラブは10数人しかいない。しかも減り続けている。それだったら、たくさん集められるクラブは、他に少し分けてあげるというような、全体としてのシステムがあれば良いのではないのでしょうか。

L 赤尾 入会1年目か2年目の人が参加するアクティビティを作って、対象者は必ず参加するような仕組みを作れば、そこで友人もできるし刺激にもなると思います。

L 鹿野 やはり他クラブに知り合いが来ると、イベントや例会に出やすいし、楽しいですね。

L 進藤 赤尾Lが言われたような大きな合同のアクティビティに参加するのも良いのですが、他クラブの単独アクティビティ、または他クラブの通常の例会に強制的に出席するというのも絶対良いと思います。と言いますのも、他クラブの例会などに出席すると、知らないことが多く凄く衝撃を受けるんですよ。それを若いうちにやっておいた方がいいです。

●ワンイヤールールをどう思いますか？

L 坪谷 会長の下には第一から第三までの副会長が設けられていますが、実際には事前準備ができないのが現状です。会長になってから計画を始めると、何事も後手に回ってしまいます。継続して検討するべき事も、会長が変わる事で継続できなくなる事もあると思います。もちろん副の任期に次期の方針などを会長と連携しながら計画できれば良いのですが、中々十分な引き継ぎが来ていません。勉強と事前準備のために設けられている副という制度が生かされていないのが残念です。そこを解決できればワンイヤールールも効果的になるのではと思います。

L 赤尾 会長や幹事は1年だからこそ頑張れるというポイントはあると思います。2年も3年もと言われると、やる人がいなくなっちゃいます。ただキャビネット委員会については、継続して行っていかなければいけないことも多いです。2年任期にして1年で半数改選という形が理想だと思います。

●今後取り組みたいアクティビティは？

L 進藤 先ほど紹介した障害者施設見学ツアーは新たなアクティビティだと思っています。様々な人が参加することによって、様々な意見が出てきて、様々な動きが起こる。また、他クラブと一緒にアクティビティを実施することで、活動が広がると思います。

L 松永 もともと薬物乱用防止教室をメインで行うためにできたクラブなのですが、もっと深く突き詰めていって、子供たちがこちらを振り向いてくれるようなアクティビティを目指したいです。

L 鹿野 まだ1年半のクラブですが、メインアクティビティである薬物乱用防止教室の内容をもっと磨いて、常に新しいものとして提供していきたいです。

L 赤尾 こころ豊かにをテーマに奉仕する側もされる側もお互いがこころ豊かになれるものを作り上げたい。例えば経営者が多い団体ですから、障害者雇用を進めるために法律その他を勉強して、積極的な雇用に結び付けていけば地域に根差したアクティビティにつながると思います。

L 坪谷 ライオンズ募金箱を制作し、これも日本全国に設置できればと思っています。ライオンズ活動の中で自分がドネーションを行うのも良いと思いますが、奉仕の心を広く一般の方にも知っていただければと考えています。募金箱には募金の目的、そしてライオンズクラブのチラシなども添えることで、PRの意味でも基金作りにも効果的であると考えます。

L 河田 ライオンズクラブ自体も時代とともに変化するべき。弱者に手を差し伸べられるような、また地域の人たちから慕われるクラブになりたいですね。

L 鹿野 祥誠
東京フロンティアLC所属
2008年5月入会

入会のきっかけ
フロンティアLCはまだ2年目のクラブなのですが、初代会長のL森本が友人でしたのでチャーターメンバーとして入会しました。

L 赤尾 嘉晃
東京豊新LC所属
2003年5月入会

入会のきっかけ
10年間在籍した東京青年会議所で城南、城西地区担当理事も務めました。先輩から「来い」の一言で、答えは「ハイorYES」でした。

L松永 貴光
東京八王子陵東LC所属
2007年12月入会

入会のきっかけ
私のスポンサーと仕事のつながりがあり、その関係で薬物乱用防止教室を見学した際に、「こんなに良いことをしてるんだな」という印象をうけて入会しました。

L坪谷 茂
東京葵LC所属
2003年3月入会

入会のきっかけ
25年間盲導犬を含めた補助犬福祉に関わっており、縁あって補助犬育成の協力をライオンズメンバーに依頼した事がきっかけで入会を決意しました。

330-A地区 委員会活動レポート 第3回 青少年育成委員会

薬物乱用防止、ライオンズクエスト、YE・レオ育成は、それぞれ独立した委員会活動を行ってきたが、今期は瀧澤委員長のリーダーシップの元で一つの委員会に統合され、薬物乱用防止担当の館副委員長、YEレオ育成担当副委員長の三宅副委員長、ライオンズクエスト担当の遠山副委員長の3副委員長を中心に活発な事業活動を展開している。また、それぞれの事業を行う際には、他の担当委員も全員で協力しながら委員会全体を活性化している。

委員会の活動報告からも、優れたチームワークの少数精鋭委員会という印象が非常に強く感じられた。

今期キャビネット編成の成功例の一つとも言える青少年育成委員会の活動を、2月5日に新宿キャビネット事務局に於いて開催された会議の様子からレポートする。



薬物乱用防止活動

ライオンズクエスト活動

YE・レオ育成活動



委員会は瀧澤委員長のごあいさつの後、それぞれの担当副委員長の経過報告および予定などが発表された。



薬物乱用防止
担当副委員長 L 館

ら開催方法の相談があれば例会訪問して要望に応えている。今期は3つの活動が一つの委員会になり、委員も少ないが、担当枠を超えて認定講師養成講座ではお手伝い頂いたおかげで委員会の絆が強まった。

(宮崎委員) 今後の課題としては、地区内メンバーの薬物乱用防止教育認定講師の名簿などもキャビネットでは保有していない現状の改善だ。ライオンズのワンイヤールールの影響もあり、麻薬覚せい剤乱用防止センターに頼ってきた部分が多かったが、今後はライオンズクラブとしての体制を早急に整えていく必要がある。そこで昨年ゴールド認定講

師連絡会を発足した。薬物乱用防止は日本から始まったアクティビティのため不備も多くある。従って、来期以降も委員会をサポートする立場で連絡会を継続していきたい。

(三宅副委員長) 来週から派遣生に対するオリエンテーションを開始する。YE担当委員はサポートをお願いしたい。タイからの来日生が4名来るので、ホストファミリーを探してほしい。それから恒例の青少年英語スピーチコンテストを6月20日に開催する。



YE・レオ育成委員会 担当副委員長 L 三宅



ライオンズクエスト 担当副委員長 L 遠山

(遠山副委員長) 今期のライオンズクエストは青少年育成委員会の他の担当委員に全面協力している。レオ育成とライオンズクエストの意義を理解頂き、取り組みを広げて行くために運営マニュアルのようなものを作りたいと考えている。今期中にできるかどうかかわからないが、今後のための足跡を残したい。

少人数制が委員会の活性化と結束に繋がった



良い成果が出ていると思う。キャビネットの委員会の他に複合の委員会にも出席する場面が多いのでその分は大変であるが、委員の皆様の協力でここまでやってこれている。

(館副委員長) ライオンズクラブの薬物乱用防止活動はこれまでの1期から12期までは発展途上であった。従って、それほど実力は求められていなかったのかもしれないが、13期目に入り、今後は表面だけの偽物は通用しなくなる。薬物乱用が蔓延する現代社会の中でライオンズクラブの薬物乱用防止教育が今必要とされている。これまで警察が行ってきたものを、ライオンズクラブが請け負っていくことも充分考えられる。我々ライオンズクラブメンバーは、そのつもりでもっと真剣に取り組んでいかなくてはいけないと思う。

(瀧澤委員長) 今回の委員会編成は良い意味で試金石となっていると思う。各副委員長に委員5名という少人数の構成で大変だと思うが、担当副委員長がそれぞれの部門でスペシャリストであり、活動内容を熟知している。そして、委員会の中でお互い積極的に協力し合っているため、結束が強まった。

(三宅副委員長) YE制度が現状に合わなくなっている部分が出てきている。例えばメンバーの高齢化により来日生の受け入れ家庭が少なくなっている。そこで今回はあしなが育英会の寮をお借りして、A地区だけのミニキャンプを行った。そのことでホストファミリーの負担の軽減につながった。

(遠山副委員長) ライオンズクエストの現状は、国際プログラムでありながら、35準地区のうち27準地区が行っているが、残りの準地区は実施していないのが現状だ。330複合地区の場合、A地区はやっているが、B地区は今年まで委員会がなかった一方で、C地区は活発に活動しているように地区によってかなり活動の温度差がある。全国レベルで足並みをそろえて取り組んでいかないといけないが、資金的な問題もあるので難しい現状である。またレオ育成については家族会員制度が出来たために、レオクラブに所属するメリットが少なくなってきたが、今回学生会員制度もできたために、さらにレオクラブの必要性が薄れてきた感じがする。

(広報委員会) 皆さんにお聞きます。これまでの活動で感動したエピソードがあればお聞かせください。

(梶委員) 少数精鋭という言葉が出ましたが、昨年の16名に対して今年は5名ということで強いきずなが出来た。あと半年ですが委員会のメンバーと別れるのがつらいくらいです。

(田中委員) 日々感動です！(笑)

(七戸委員) 前半に出席できないことが多かったが、後半は出来るだけ協力したい。

(柳屋委員) クエスト担当だが、YEや薬物乱用防止もお手伝いできて、大変勉強になっている。

(武田委員) 次期につながるような仕事がしたい。ワンイヤーで終わってしまうのは残念。来期のガバナーには今期の委員会に出席して頂き、来期の人事の参考にいただければと思う。

(根津委員) 私はYE担当だが、薬物乱用防止担当の協力をしたおかげで、自クラブの薬物乱用防止教室で講師を務めることが出来た。もしこの経験がなければ講師を断っていたかもしれない。

(池田委員) 帰国報告会に出席し、派遣生のスピーチを聞いてとても感動した。派遣される前と帰国した後で明らかに成長して生き生きとした話し方が印象的だった。

(吉田委員) 今期は大病をしたためしばらく委員会をお休みせざるを得なかったが、自クラブの薬物乱用防止教室には館副委員長に来ていただき、講師を務めていただき大変勉強になった。同じ委員会で活動出来て本当によかったと思う。

外から見た330A地区

人は案外自分自身の事がよくわからないものです。
同様に、私たちの地区の特徴や強み、或いは改善点に
気がついていないのかも知れません。
そこで、隣接地区330B・C地区の経験豊かなメンバーから、
私たちの地区に対する質問にご回答頂きました。

330-A地区には どのような特徴があるとお考えでしょうか？

- 東京は、人的にも、文化的にも、さらには経済的にも、
日本の中心となっている地域だと思えます。
また、様々な才能・発想にあふれた人材を
多く抱えておられる部分だと思えます。
- 活発、競合、情報の宝庫。日本の中心地。
そんなイメージです。

330A地区には どのような強みがあるとお考えでしょうか？

- 強みと言えるのかどうかわかりませんが、
多様性なのではないでしょうか。
- C地区と比べると事業規模の比較的大きいメンバーも
多く存在しているイメージがあります。
また、地区内でも伝統のあるクラブが多く、
ライオンとしての意識が高いメンバーが多く存在する。

ご自身の地区と330-A地区を比較したときに 最も大きな違いは何だとお考えでしょうか？

- 「A」と「B」という名前の違いだと思います。
日本最初のライオンズクラブとして東京クラブが
結成されて以来、日本の中心という意識を
お持ちになって活動されてきたと思えます。
自身のことを卑下するわけではありませんが、
根底に日本で一番という意識をお持ちになっているか
どうかが一番の違いかと感じます。
- A地区は、活発で競合が多く、選挙・選挙のイメージ
C地区は、調整平和主義的なイメージです。
最近、当地区も選挙が増えてはいますが……。

今後の330A地区に期待されることは何でしょうか？

- 短期的には、来期国際理事をお出しになる地区として、
単に地区としての活動だけではなく
日本、世界を見据えた活動を期待しています。
- 日本には、3,306クラブが存在しますが、
スケールメリットを発揮できていない現実があります。
準地区別には、35地区が存在し、8つの複合地区から
なっていますが、スケールメリットを生かし、PR効果を
最大限に発揮するには、どこに着眼していけば良いのかを
追求し、新たな手法で各地区が1つのことで
注目を集めるための方策を考え、実行していくための
リーダー地区で在って欲しいと思えます。
現実的には、35人のガバナーが考えを1つにする事は、
至難の業であることは理解しています。
MD330が中心的にリードすることが重要と考えております。
特に、A地区の未来のガバナーには、期待したいと思います。

ご自身の地区と330-A地区との 交流についてはどのようにお考えでしょうか？

- 地区単位での交流というのは難しいですね。
330という同じ複合に所属しているわけですが、
ライオンズクラブの基本は単一クラブだと思います。
行政区を隣接している地域も多いのですから、
近隣のクラブ同士が、地区の垣根を越えて
交流を深めることができれば、アクティビティの面でも
新たな展開が広がっていくのかもしれません。
- 現在のマンスリー集計システム(サバンナ)を構築する前に、
B地区、A地区に呼びかけましたが、
なぜか協力姿勢が得られずに残念な数年がありました。
そうこうしている所に、333C地区がサバンナを構築して、
その後どうにか、A・B・C地区が協力して
同時にスタートできましたが、地区が競うのではなく、
特に複合地区の役員は、如何にして融合しスケールメリットを
発揮できるかを追求すべきと思います。
やはり、リーダーとして、A地区さんに期待する所が大です。
皆さんで手を携えて協調し、互いが発展できるように
協力して行きたいものです。

地区役員・クラブ役員のための ミニIT講座（第3回）

330-A地区広報委員会
toukou09@lions330-a.org

クラブホームページの 内容・更新・デザインについて

(地区内各クラブホームページでの参考例)
http://www.lions330-a.org/lionslink/clubs_link.html

今回はクラブのホームページを運営・作成・更新するにあたって参考になる、330-A地区内の各クラブホームページについて
取り上げます。クラブの公式ホームページの情報発信・伝達の目的はいろいろあると考えられますが、その目的は大きく二つに分け
られると思います。一つ目はクラブメンバー、あるいはライオンズ関係者の重要な情報源として、それから二つ目としては不特定の
情報入手希望者に対しての、クラブとしての正確な自己紹介情報にあると考えられます。これらの目的を確実に果たすためには次の
三つの要素が大事と思われます。以下、それぞれの要素について参考になるクラブホームページをピックアップしてご紹介します。

- ① **内容・情報の充実** 一番大事なのはこれです。より多くの、しかも正確な情報がホームページにあれば
コミュニケーションツールとして欠かせません。



- ② **更新の頻度** 生きている情報源として認識されるには、更新の頻度と情報伝達のスピードが重要です。
理想的には週一回以上の更新が望まれます。



- ③ **デザイン** 多くのメンバーあるいはその他の関係者の情報源として愛用されるには、飽きの来ないシンプルなデザイン、
見やすさなども重要になってきます。また、表示のスピードも大切です。



奉仕の感動



印象的な開会式・・・

会場には「ゆずり葉」の早瀬憲太郎監督、監督の映画仲間の「風が吹いている」監督の大森寿美男さん。「おとなり」監督の熊澤尚人さん。脚本のまなべゆきこさん。「童貞放浪記」監督の小沼雄一さん。そして語り部として

不安の中ではスタート。客席には白い杖を持った視覚障害者の方が多くいらっしゃいました。そうです。今回は音声解説付きの上映会で、視覚障害者の方々に呼びかけをしてきたのです。介添えの方もいますが約50名くらいはいらっしゃいます。

今回のチャリティ上映会は、この音声解説をブルーレイディスクに落とし込むことにより、全国の上映会で盲人の方がこの映画を楽しむことのできる装置にかかる資金集めだったのです。

ろう者と盲人の橋渡しのために・・・

6時30分。開演の時間だが少し空席が目立つ。おそらく入場者は750名の客席で550～600名くらい。満席を目指したが次回への課題と勉強だ。

ホールロビーは開演を待ちわびる人でいっぱい。急遽6時前に開場することになりました。初めてのことで慣れないメンバー達。全体を仕切らなくてはいけないのが、と素人の実行委員長である私。不安が過るがそんなことは言ってもらえません。

こういう時にいつもお願いしているガールスカウトの子供たち。入場する人に「募金お願いします」と声を掛けると効果が。上演前に24万の募金額になった。

無事に「ゆずり葉」上映会を終えることができました。今までにない「達成感」に浸っています・・・

有名で「ゆずり葉」の音声解説声優の川島昭恵さん。主演の福嶋一生くん等たくさんの方の関係者の皆様にお越し頂き、お客様の紹介から大変盛り上がりました。主催者を代表して会長がご挨拶。ライオンズクラブの宣伝も忘れません。そして第一副地区ガバナーのし河合悦子、続いて聾唖連盟の事務局長、早瀬監督とご挨拶がありました。すべての挨拶が手話で通訳されているのがとても印象的でした。

だれも帰らない上映会・・・

この映画を観たことのないメンバーは客席で鑑賞しました。私は帰り客の最後の募金を集めるため、お客様の動線を考え、募金箱の配置や、写真の撮影ポイントなどを考えていました。「きっとエンドロールが流れるとお客さんはそろそろ帰るだろう」と思っていました。だからエンドロールが流れると最後列にいるメンバーに声をかけ「募金しますよ。スタンバイお願いします」と言いに行きました・・・

するとメンバーのほとんどが泣いています。眼鏡をはずして涙をぬぐっています。「いい奴らだぜ」と思いました。でもお仕事です。目を赤くしたメンバーたちに募金箱を持たせて配置についてもりました。でもお客さんが出てきません。ほとんどのお客さんが座ったままでした。涙を隠すためしばらく立てなかったのかもしれませんが、予定にはなかったことですが、主演の福嶋一生君が舞台上上がって皆さんにお礼を言いました。手話通訳の方が彼の言葉を訳すと大きな拍手が鳴り、その後すぐ、もうみんな覚えてしまった手話の拍手(手をたたかず両掌をふる)が会場を包みます。

まだ帰らない。司会がアンケートの協力と、募金をお願いをして大きな拍手とともに閉会になりました。

江戸川東LC L 茅島純一

2010 クラブ アクティビティ

芝浦LC 10月15日～16日 社会見学例会

社会見学例会として新潟県柏崎刈羽原子力発電所6号棟の中まで見学し、翌日はBWR運転訓練センターを見学いたしました。

参加メンバー：7名
ご同伴者：22名



板橋LC 12月22日 薬害防止教室

板橋区立金沢小の6年生109名を対象に、DVDを視聴の上、パンフレットを配布し、解説質疑応答し薬害防止の啓蒙活動を行いました。



三軒茶屋LC 2月5日 中古メガネリサイクル

世界保健機構によると、発展途上国に住む1,530万人もの人々が視力矯正できずに勉強や仕事で不便を強いられているそうです。

使わなくなった眼鏡をリサイクルすることによって誰かの人生を明るくすることができます。その一助になるよう、東京三軒茶屋LCではリサイクル活動に取り組んでいます。近年、日本では眼鏡リサイクルへの関心が高いようで、クラブ宛に頻繁に問い合わせがあります。丸井の眼鏡販売事業部も当クラブへ大量のリサイクル眼鏡を提供しています。

写真は2月5日丸井戸田倉庫における1,540枚の中古メガネ贈呈式の模様。



駒込LC 12月4日 文京区立中学校のボランティア活動に対して表彰式



文京シビックセンターにおいて文京区立中学校のボランティア活動に対して表彰式を行いました。又、ボランティア活動の内容を発表して頂きました。



玉川LC 1月9日 障害者支援チャリティーバザー



九品仏浄真寺において毎年1月に開催されている「新春餅つき大会」に参加し、障害者支援チャリティー

募金のため、バザーを開催。会員提供の品物の他、福祉施設のクッキーなども販売しました。

当日は岡野ガバナー、河合副地区ガバナーにも売り子として飛び入り参加いただきました。



板橋西LC、板橋LC 2月2日 合同献血活動

東京都養育院記念講堂にて、東京板橋西ライオンズクラブ及び東京板橋ライオンズクラブによる合同献血活動を例年通り行いました。



昭島LC 1月17日 第49回新春たこあげ大会

青少年育成アクティビティーの一環として、毎年恒例の『新春たこあげ大会』が1月17日(日)に昭島市の多摩川河川敷で行われました。

この『たこあげ大会』は「青少年とともにあゆむ地区委員会」が主催し、われわれ東京昭島ライオンズクラブの協賛で開催され、今回で第49回を迎えます。



このシーズンの『たこあげ大会』は河川敷と言う事も有り、日によって風の吹き方が大きく変わります。今回も子供たちは四苦八苦して居りましたが、例年と異なるのは、ガバナーにお越し頂いたせいか、より多くの『たこ』が天まで昇って居たような気が致しました。

2月20日 第2回献血奉仕活動

皆様もご存知の通り、冬場の献血奉仕は寒さと戦いであり、献血して下さる方も同じ思いの中で頑張って頂いて居る筈です。そして、一年を通じて血液が一番足りない時期だからこそ冬場の献血奉仕活動は重要な要素を占めているのです。その様な中、今回も覚悟を決めて昭島駅前に集合、ところが今回はチョット違って居ました。最近の寒さとは異り、我々に天が見方するが如く春を思わせる陽気と成ったのです。



献血申込者数91名・献血者数66名・献血できなかった人数25名(内訳：200ml献血19名・400ml献血47名)



神楽坂LC 1月14日 2月6日～21日
献血奉仕活動 飯田橋ラムラ前 第31回牛込A地区親善少年野球大会



昨日までの寒さもどこへ行ったのかと思うほどのポカポカ陽気の日でした。有志一同、大きな声で献血の呼びかけを致しました。

参加クラブメンバー数：16名
献血受付者数：40名（うち献血頂いた方22名）



献血できなかった18名のご協力者にも感謝いたします。

皆様、有難うございました。



第1回より応援をしているアクティビティです。冬の寒さの厳しい中、大きな声援がグラウンドを飛び交っていました。



セントラルLC 2月7日
第25回中国帰国者日本語発表会

東京セントラルLCが主催する「中国帰国者第25回日本語発表会」が国立オリンピック記念青少年総合センター（東京代々木）にて行われました。今年で25回目となるこの発表会は、日本に帰国した中国の残留孤児などの支援を目的に毎年、同クラブが主催し、発表者らに賞品を贈って励ましてきました。



今年も12歳の少女から73歳の年配者まで13名の発表者は、一生懸命不慣れな日本語で、自身の感じていることや体験したことを話しました。「歳を経てからの言葉の勉強は大変」との評価で、年配者らを励まし、多くの参加者でにぎわった発表会の成功に、主催者である東京セントラルLCメンバーは満足した様子でした。

上野南LC 2月11日
NHK福祉大相撲に
台東区立柏葉中学校特別支援学級の生徒を招待

毎年開催されるNHK福祉大相撲に台東区立柏葉中学校特別支援学級の生徒、1～3年生の27名と、先生方合わせて35名を招待しました。



第1回の福祉大相撲からなので今年で43回目となります。生徒達は相撲が大好きで、大きな歓声と声援を送っていました。また、毎年「お礼の会」として学校に上野南LCのメンバーを招いて頂きます。今年は2月24日に予定されていますが、ハンドベルの演奏や合唱なども聞かせてもらっています。また、手作りのコーヒゼリーなども楽しみです。

当日は岡野ガバナーもお見えになり、子供たちと一緒に観戦しました。



世田谷LC、江戸川東LC 1月26日
薬物乱用防止教室

世田谷区の池尻小学校において、薬物乱用防止教室が開催されました。主催は世田谷ライオンズクラブで江戸川東ライオンズクラブも協力参加いたしました。



最初の1時間目は江戸川東LCのL徳田が講師として講演を行いました。

子供たちはとても熱心にメモを取りながら講義を聞いてくれました。質問もたくさん出てとてもよかったと思います。



次の2時間目は江戸川東LCのL桐井の司会、L茅島のバイニン、世田谷LCのL進藤の小生役で寸劇を行いました。バイニンのL茅島が進藤小学生を相手に、薬物を売りつけますが、どのように断るかの寸劇です。



続いて小学生に参加してもらい、バイニンの誘いを断る方法を学んで頂きました。それぞれに工夫があって大変盛り上がりました。

最後に先生から「本当に意義のある授業になった。もし酒井法子や押尾学が小学生の時にこの授業を受けていたらこんなことにならなかったと思います。」とおっしゃっていただきました。とても気持ちのよいアクティビティでした。



晴海LC 2月11日
口と足で描いた世界の絵画展

晴海トリトンスクエアにおいて、地区ニュースの表紙でもおなじみの「口と足で描いた世界の絵画展」が開かれました。開催日は2月8日から12日までですが、この日が晴海LCの担当日となりました。世界各国から60数点が出品されていましたが、どの作品も大変素晴らしいものでした。多くの作品が遺作となっており、家族が所有していて売りに出されることが少ないため、これだけの数が集まるのは貴重なことなのだそうです。



新宿LC 2月11日
東京新宿LC旗争奪「第23回青少年レスリング選手権大会」

新宿LC主催、NPO全国青少年レスリング連盟後援による「レスリング大会」が新宿区内スポーツ会館にて行われ、関東全域から32クラブ310名の選手。父兄応援団、コーチ、関係者500名が声援を送りました。幼児から6年生までの少年少女の熱戦に、あたたかい拍手と激励に包まれました。日頃の練習をこの1日にかけて、競う各選手の健気な姿に感動しました。



GAIA LC 2月17日
有料老人ホーム「シルバービレッジ」を慰問

東京GAIAライオンズクラブのメンバーは平成22年2月17日(水)東京日野市にある介護つき有料老人ホーム「シルバービレッジ」を訪れ、同クラブメンバーのジェームズ・ルードーさんが率いる「ハート・トゥ・ハート」の歌や演奏を入居者の皆様に提供しました。同クラブでは、毎年こうした施設を慰問して喜ばれています。



調布LC 2月18日
薬物乱用防止教室

当クラブで初めての薬物乱用防止教室を調布市立北ノ台小学校で実施いたしました。6年生3クラスを3名の講師がそれぞれ担当して約45分間の講演でした。その後の一時限は子供たちとのロールプレイングゲームで楽しくも充実した一日でした。初めての教室ということで、13名のメンバーが参加し、最後に若山校長先生より熱い感謝の気持ちが述べられました。



国立LC 2月19日
薬物乱用防止講演会

国立市保険センターにて、平成21年度「薬物乱用防止講演会」を開催しました。330-A地区青少年育成委員会薬物乱用防止担当副委員長の館親光Lにご講演頂きました。市内の薬剤師、保護司、民生委員、育成会、防犯協会をはじめ約100名程度の参加があり大盛況となりました。館親光Lに対し、宝会長より感謝状を贈呈させて頂きました。



330-A地区
キャビネット
事務局紹介



全国には、8複合地区、35準地区があり、それぞれの準地区にキャビネット事務局が設けられています。地区キャビネットは、キャビネット構成員(※)が地区ガバナーの基本方針に従い、事業運営を行うところです。

330-A地区より選出されたガバナーのもとで開催される地区年次大会、キャビネット会議、各種セミナーなどのご案内や通達事項は、330-A地区キャビネット事務局から主に各クラブ事務局へ通達され、私たちの所属クラブの会長、幹事、会計あるいはメンバーへと情報が伝達されます。

〔現在、330-A地区内に所属するクラブ事務局には、東京合同事務局、複数クラブを担当している事務局、単一クラブを担当している事務局とに分かれています。近年では、メンバーが1交代でクラブ事務を担当するクラブも多くなってきました〕

また、日本ライオンズ連絡事務所を通じて、OSEALフォーラムや国際大会、国際会長・LCIF理事長公式訪問など、全日本レベルや複合地区レベルの情報のやりとりもキャビネット事務局の仕事です。それだけでなく、地区会費の納入管理や、国際会費の納入に関しても、遅延があるクラブへお知らせするなどの役割を担っています。

330-A地区キャビネット事務局では、現在3名の事務局員で地区ガバナーの年間行事の準備や対応、日本ライオンズ連絡事務所や330複合地区事務局、各クラブ事務局との対応などを行っております。特に、地区年次大会前の2月～4月にかけては、大会準備に追われますので、キャビネット構成員やメンバーの皆様には、ぜひご理解とご協力をお願いしたいところです。

※キャビネット構成員は地区ガバナー、前地区ガバナー、第1・第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、地区幹事、地区会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、委員長の他、地区ガバナーが必要として認めて任命した役員を構成員としています。

主要行事日程表

■ キャビネット会議

第4回 2010年 6月14日(月) 会 議 15:00 - 17:00 東京プリンスホテル
懇親会 17:00 - 18:30
※ 元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・複合地区役員

■ 年次大会

330-A地区(第56回) 2010年 4月24日(土) 東京プリンスホテル
330複合地区(第56回) 2010年 5月15日(土) 東京プリンスホテル

■ 国際大会

第93回 2010年 6月28日(月) ~ 7月 2日(金) オーストラリア・シドニー
第94回 2011年 7月 4日(月) ~ 7月 8日(金) ワシントン州・シアトル

■ OSEALフォーラム

第49回 2010年11月18日(木)~11月21日(日) 開催地区 MD300 台湾・高雄
第50回 2011年(詳細日程未定) 開催地区 MD301 フィリピン

■ 第93回 ライオンズクラブ国際大会(オーストラリア・シドニー)の登録ご案内

登録料 普通登録(国際本部締切5月1日) 130 US\$
後期登録(5月2日以降) 150 US\$

※ 登録後のキャンセルについて

大会登録料は5月1日まで、ホテル予約金は 5月15日までに国際本部に文書で届けた場合には料金が払い戻されますが、払戻金からそれぞれ5ドルの手数料が差し引かれます。

国際大会に参加して
世界のライオンズメンバーと交流しよう!



表紙作者 ルース・クリステンセン(デンマーク) 作品名 「子供カーニバル」



事故で両腕を肘から失ったのは11歳の時だったが、長じて首都コペンハーゲンで工芸学校に通った。グラフィックアートを履修した後は、広告代理店で数年間働き、この時期に、花と北欧のクリスマスのモチーフに彼女独特のスタイルを確立した。1992年のデンマーク郵政のための福祉切手のデザインや、ヨーロッパ議会のクリスマスカードのデザイン提供などが実績として特筆される。並行して芸術上の野心的な創造と発信を求めた彼女は、口で様々なテーマを描き始めた。色鮮やかで印象的な花、静物、風景が彼女の好む主題となり、子供や動物、妖精などをも様々な技法で表現するようになった。

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区
地区ニュース3号
発行日 2010年3月25日
発行 広報委員会

広報委員会
委員長 近藤 正彦 委員 矢田部 満
副委員長 柴田 誠 奥山 慎
佐原 幸雄 荻野 桂一
委員 鈴木 郁朗 太田 正利
高尾 省吾 茅島 純一
山本 康弘

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区 キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダイカンプラザ B館 2F
TEL 03-5330-3330 FAX 03-5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org